



## 沖縄の 100 年企業

おきなわ F B 短信 (14)  
(1 分間で読めます。)

平成 21 年 3 月 5 日 (木)

日経の 200 年企業を読んでいて考えた。

ところで、沖縄では 200 年企業という話を聞いたことはないが、100 年企業はあるのだろうか。

そこで事業所統計 (平成 18 年) を見てみた。

全産業 69,997 社のうち昭和 29 年 (1954 年) 以前の開設時期の事業所が 1,226 事業所となっていた。これは 55 年超の事業所であるから、このうち 100 年事業所は何社あるかである。

雑談の折、琉大の島袋先生が、沖縄に 100 年企業は無いんじゃない、聞いたことはないよ。と言われていたが、100 年企業はあるのだろうか。

沖縄に 100 年企業が少ない理由は、戦前の沖縄の経済規模と経済環境の問題でもあり、太平洋戦争による焼土化と破壊によるものと思われる。

その点は、全国で 100 年企業の比率が最も高い京都 (全国は 1.63%、京都は 3.54% 帝国データバンク調) は、平安時代から発展した都市であり、大戦による被害が少なかったことからわかる。

沖縄の 100 年企業は何社あるかということで、今は絶版の沖縄県企業録 (沖縄タイムス社)、沖縄県企業便覧 (沖縄産経興新所)、沖縄企業録 (沖縄タイムス社) 等を調べて 4 社程度あった。

そんなに少ない筈はないと商工リサーチ (大城支店長) と帝国データバンク (前田支店長) に問い合わせたところそれぞれ 7 社 (100 年企業比率 0.07%) と 9 社 (100 年企業比率 0.08%) との回答があった。確かに沖縄の 100 年企業比率は低い。

更にネットで調べたり、TV のコマーシャルを思い出したり、両支店長にもう一度調べてもらったり、個人企業も含めて 17 社、それにそろそろ 100 年 (98 年) の錦屋旗店さん等を入れて 19 社を今日までに見つけた。その業種は酒造 (8 社)、菓子 (3 社)、味噌醤油 (1 社)、問屋 (1 社)、新聞 (1 社)、葬儀 (1 社)、食堂 (1 社)、仏具 (1 社)、旗具 (1 社)、宗教法人 (1 法人) であった。

沖縄の長寿企業を見つけるのを楽しみに、微力ではあるが企業の長寿を支援できる工夫を考えたく思って。